



航空自衛隊
創設70周年記念

大空とその先へ TO THE SKY AND BEYOND



X



Facebook



YouTube



Instagram



Website



JAPAN AIR SELF-DEFENSE FORCE



To the Sky and Beyond



JASDF 航空自衛隊 CONTENTS

I 航空自衛隊とは

航空自衛隊が活動する領域	03
航空自衛隊の任務	04
航空防衛力	

II 空と宇宙を守り抜く

わが国周辺の空の状況	05
防空のための作戦	07
弾道ミサイル等に対する破壊措置	09
防衛力の抜本的強化の7つの分野	11
災害派遣	13
日米同盟/安全保障協力	14
航空自衛隊の編成	15
航空自衛隊の装備	17
航空自衛隊の役割	19

III 空と宇宙を守る隊員たち

航空自衛隊の採用・育成制度	21
ワークライフバランスの推進	23
女性の活躍推進/再就職のためのサポート	24

IV 国民とのつながり

ブルーインパルス	25
音楽隊/航空祭	26

V 航空自衛隊70年の歴史

VI 航空自衛隊浜松広報館「エアーパーク」

30

航空自衛隊創設70周年を迎えて

第37代航空幕僚長

空将 内倉 浩昭



本年度、航空自衛隊は創設70周年を迎えます。まずはこれまでの航空自衛隊の活動に対するご理解、ご支援に深く感謝申し上げます。70周年という節目に航空自衛隊がこれまで築き上げてきました歴史を振り返り、良き伝統を継承するとともに、宇宙領域を含む航空自衛隊の進化に向けた各種取組を進めてまいり所存です。併せまして、同盟国や同志国との連携の強化及び国民の皆様の更なる理解の促進と信頼の醸成に努めてまいります。

航空自衛隊は、昭和29年7月1日に保安隊及び海上警備隊がそれぞれ陸上自衛隊、海上自衛隊と改称され、防衛庁が設置されるのと同様に創設されました。創設以来、我が国を取り巻く安全保障環境は変化を続け、航空自衛隊は、その時代時代において求められる役割を果たしてまいりました。冷戦構造の中では、米国の協力を得つつ、ひたすらにその実力を高め、我が国周辺に「力の空白」を作らない努力を重ねてまいりました。昭和62年にはソ連機が沖縄上空を領空侵犯し、昭和33年に航空自衛隊が対領空侵犯措置を開始して以来、初めてとなる信号射撃による警告を行いました。平成10年には北朝鮮が日本上空を超える弾道ミサイルの発射を行い、今や防空の要となっているBMDシステムの整備を推進させる契機となりました。平成15年にはイラク人道復興支援法に基づく対応措置の命令を受けて輸送航空隊を編成し、初の長期に渡る海外での活動を行いました。期間にして約5年間、計16次にもわたる派遣活動でしたが、この間、大きな事故を1件も生じさせることなく任務を完遂しました。近年に目を向けますと、令和2年に宇宙領域専門の部隊を立ち上げ、昨年から宇宙

領域把握に関する任務を開始し、宇宙の安定利用のため、米国及び同志国、更には関係機関等と一層連携を強化しております。

このように航空自衛隊の任務は、周辺情勢に対応し、その範囲を我が国周辺から海外へ、そして宇宙へと拡大してまいりました。今後、宇宙領域における作戦を航空作戦と並び立つ主要な任務と位置付け、「航空自衛隊」という名称も「航空宇宙自衛隊」と改称することを予定しております。その名に相応しい組織となれるよう、引き続き空の守りと宇宙空間の安定利用に寄与する任務を実直に遂行してまいります。

航空自衛隊は、安全保障に関する諸課題に真摯に向き合いながら、「大空とその先へ」向けて、目の前の試練を乗り越えれば明るい未来が待っているという意味の「雲外蒼天」と、やるべきことを見失わずに弛まず努力を続けるという意味の「万里一空」という空に纏わる2つの言葉を胸に刻み、隊員一同、心を一つにして互いに鼓舞しながら各種任務や訓練に自信をもって臨める宇宙作戦能力を含む航空防衛力を引き続き造成していく所存です。

今回の70周年は、航空自衛隊として迎える最後の節目であり、このような機会に改めて愛する家族、大切な仲間を含む国民の皆様の平和な暮らしを断固として守り抜くため、「強さ」と「優しさ」を併せ持った組織を造り上げていく決意を新たにするとともに、航空自衛隊の発展に多大なご尽力を賜りました全ての皆様方に心から御礼申し上げます。引き続き航空自衛隊に対し、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



記念ロゴマーク

「宇宙」を背景とし、線は、サイバー及び電磁波、各装備品との連結性を表現しました。また、日本地図は航空自衛隊が守るべき対象であり、航空作戦の中核となる航空方面隊司令部所在地に4つの点を配置して、我が国の空を守る決意を表しています。さらに、70の文字の中で、「0」は任務領域が宇宙へ拡大する様子を地球と地球を取り囲む衛星、月、星空を表現しています。

キャッチフレーズ

「大空とその先へ」

航空宇宙自衛隊への進化及び爽やかでチャレンジ精神旺盛な航空自衛隊をイメージして作成しました。「大空」は、人類が空に思い描く、夢、希望、挑戦などをイメージし、「その先へ」により引き続き挑戦を続けていく決意を表現しています。さらに、「大空とその先へ」と全体を俯瞰すると、航空自衛隊の任務領域の空に加えて宇宙まで任務領域が拡大することに対する決意を表しています。

航空自衛隊は日本の空を守る唯一の組織です。
JASDF is the only organization that defends the Japanese sky.

航空自衛隊の任務

Missions of the JASDF

航空自衛隊は、24時間365日、日本周辺の空域を常時監視し、わが国の平和と独立を守っています。
JASDF always surveils the airspace around Japan for 24hours. 365days and defends the peace and the independence of our country.

航空自衛隊が活動する領域

Domains protected by JASDF

従来の領域に加え、宇宙・サイバー・電磁波領域への対応に取り組みます。
In addition to traditional domains, we will work on domains such as space, cyberspace and electromagnetic spectrum.

従来の領域（領空と防空識別圏）

Traditional domains
(Territorial airspace and air defense identification zone)



従来の領域とは、これまで自衛隊が主に活動していた陸・海・空といった領域のことです。航空自衛隊は、主に我が国の領土・領海の上空を指す「領空」を守る防空と、そのために国籍不明機等を警戒・監視している「防空識別圏」で活動しています。日本の防空識別圏はヨーロッパに匹敵する広さがあります。

Traditional domains refer to land, sea and air where the SDF has operated. JASDF operates in "territorial airspace" the skies above Japan's territory and territorial sea and "Air Defense Identification Zone(ADIZ)" designated airspace that is considered to require warning and surveillance for air defense of our country. Japan's ADIZ is as large as Europe.

宇宙・サイバー・電磁波領域

Space, cyberspace and electromagnetic spectrum

航空自衛隊は、宇宙・サイバー・電磁波3つの領域への対応に取り組みます。

Japan Air Self-Defense Force works on three domains: space, cyberspace and electromagnetic spectrum.



航空防衛力

Air defense capability

航空防衛力は、航空機、レーダー、ミサイル等を主体とした国家が保有する航空に関する防衛力です。

Air defense capabilities are the defense capability such as aircraft, radars and missiles.

早期に相手を発見・識別する
航空警戒管制部隊

Aircraft Control and Warning Units for detecting and identifying enemies at early stage.



能力の高い戦闘機で優位に立つ戦闘機部隊

Combat unit that has an advantage with highly capable fighters.



侵攻する航空機等に地上からミサイルで対処する
地対空誘導弾部隊

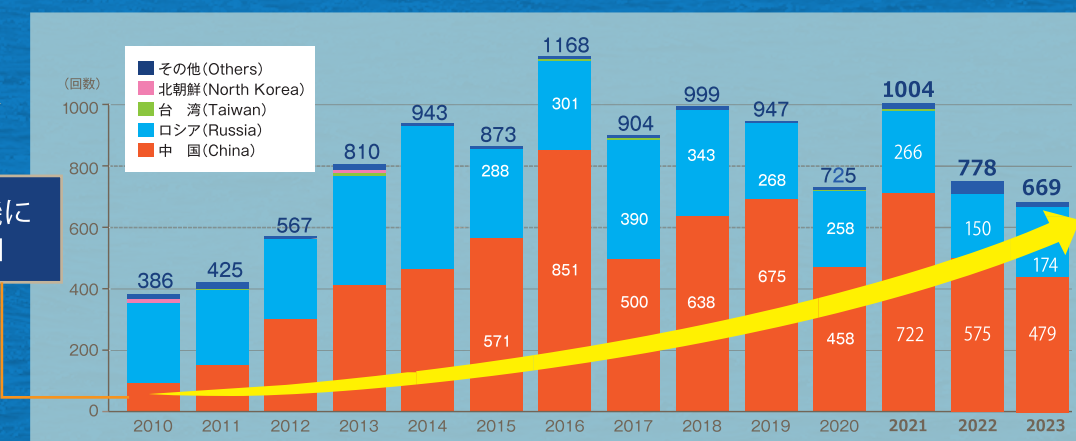
Surface-to-Air Missile Units to fight invading aircraft.



わが国周辺の空の状況

Airspace surrounding Japan

わが国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増しています。
The security environment surrounding Japan is becoming increasingly severe.

スクランブル
発進回数の推移Number of Scrambles and
its Breakdown2010年度以降、中国機に
対する緊急発進が増加

択捉島にロシア戦闘機(Su-35)
が配備(2018年8月)

ロシアの軍事
活動の活発化

Increasing Russian Military Activities



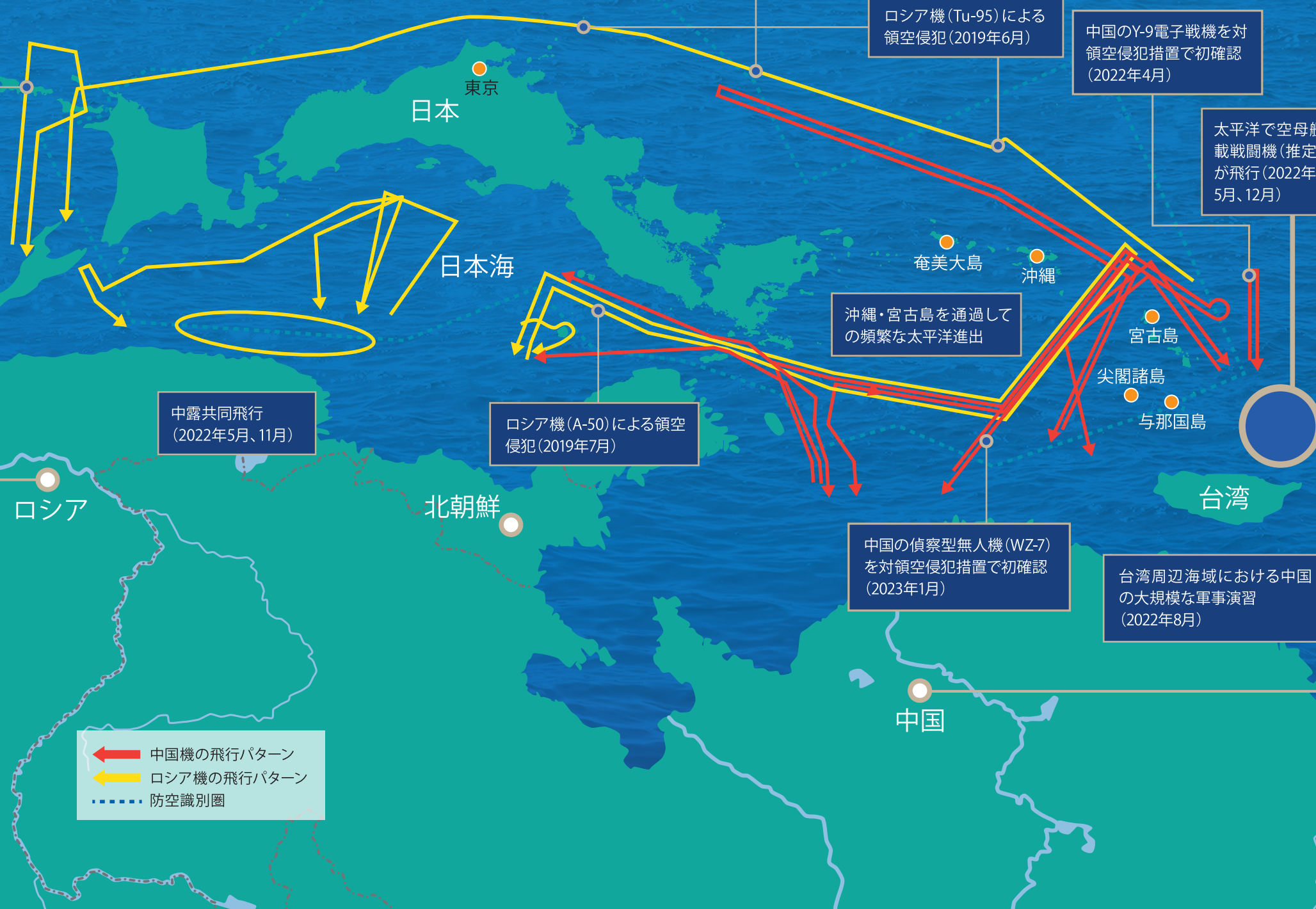
日本海から対馬海峡を通過し、東シナ
海及び太平洋を中国機と共同飛行した
ロシアの爆撃機「Tu-95」(2022年5月、
11月)

Russian bomber "Tu-95" passed the
Tsushima channel from the Sea of Japan
and flew with Chinese aircraft over the
East China Sea and the Pacific Ocean.
(May, Nov. 2022)



竹島領空内を飛行したロシアの早期
警戒管制機「A-50」(2019年7月)

Russian airborne warning and control
aircraft "A-50" flew in Japanese territorial
airspace above the Takeshima island.
(Jul. 2019)

中国の
軍事活動範囲
の更なる拡大Further expansion of
China's military activities

対領空侵犯措置で初めて確認された
中国の電子戦機「Y-9」(2022年4月)

The Chinese electronic warfare aircraft "Y-9" was
identified during Scrambling against Aircraft
Intruding into Territorial Airspace for the first time.
(Apr. 2022)



日本海から対馬海峡を通過し、東シ
ナ海及び太平洋をロシア機と共同飛
行した中国の爆撃機「H-6」
(2022年5月、11月)

Chinese bomber "H-6" passed the Tsushima channel
from the Sea of Japan and flew with Russian aircraft
over the East China Sea and the Pacific Ocean. (May,
Nov. 2022).



台湾周辺での訓練に参加する中
国海軍空母「山東」(2023年4月)

Chinese Navy aircraft carrier "Shandong"
participated in training exercises in the vicinity of
Taiwan. (Apr. 2023)

防空のための作戦

Air defense operations

防空のための作戦の一例

Example of air defense operations

わが国に対する攻撃があった場合、相手の航空攻撃に即応して国土からできる限り遠方で迎え撃ち、国民と国土の被害を防ぎます。

In case of an adversarial air attack on Japan, JASDF is ready to counter it as far as possible from Japan's territory and prevent damages on the people and territory.

要撃
Intercept

防空指令所で彼我不明機等と識別された場合、直ちに戦闘機が緊急発進し対応します。

If Air Defense Direction Center detects any suspicious aircrafts heading to Japan's territorial airspace, fighter aircrafts scramble to approach them.

撃破
Destroy

相手の航空攻撃に対し、戦闘機及び高射部隊で迎え撃ちます。

JASDF counters enemy air attacks with its fighter and air defense missile units.

識別
Identify

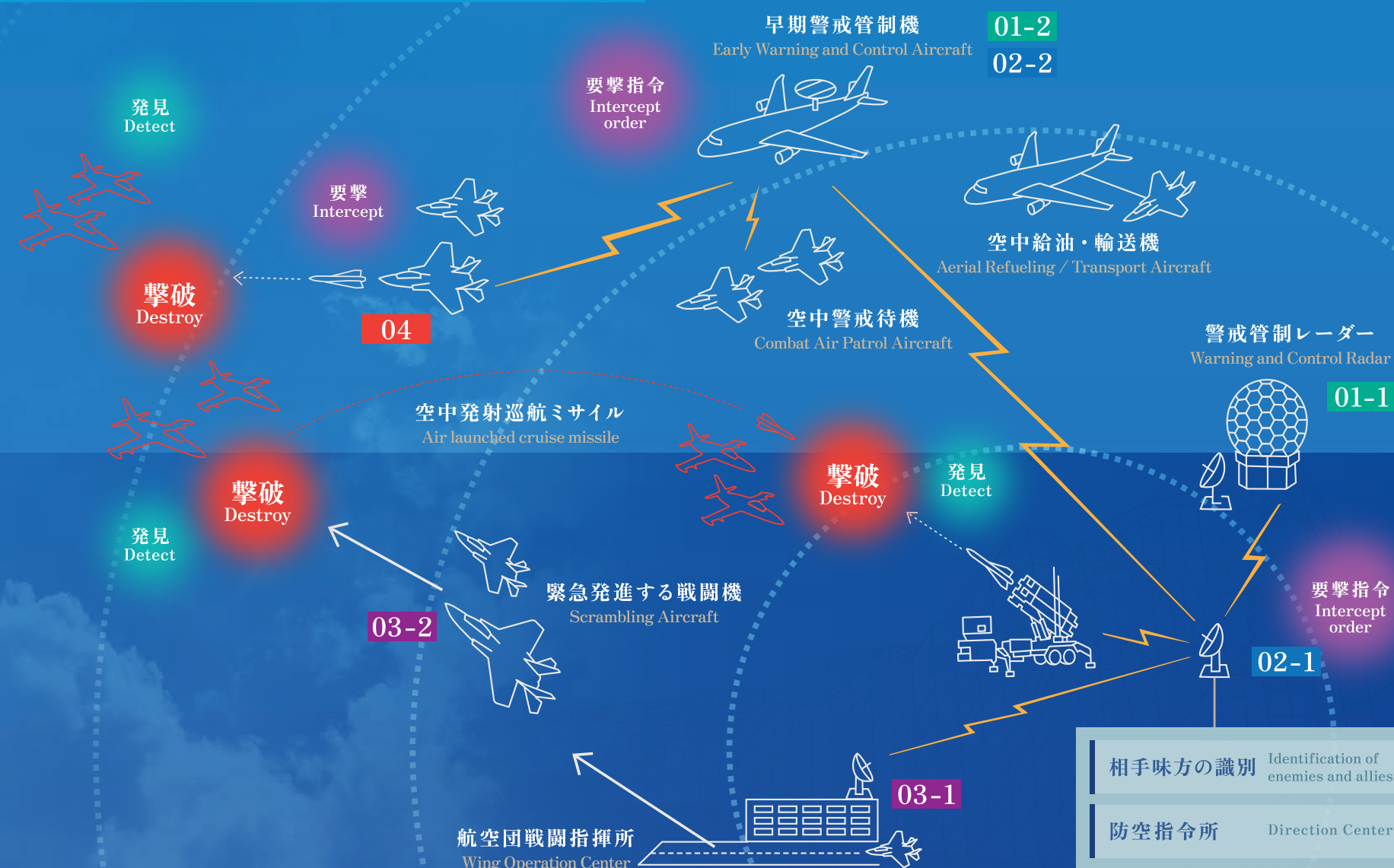
地上レーダーや早期警戒管制機等で得られた情報は、各エリアの識別されます。

Information obtained from ground radars, Early Warning and Control Aircraft, and others is sent to the Direction Centers in each area for identification.

発見
Detect

地上レーダー・早期警戒管制機等が国籍不明機や弾道ミサイル等を探知します。

Ground radars, Early Warning and Control Aircraft, and others detect unidentified aircraft or ballistic missiles, among other threats.



弾道ミサイル等に対する破壊措置

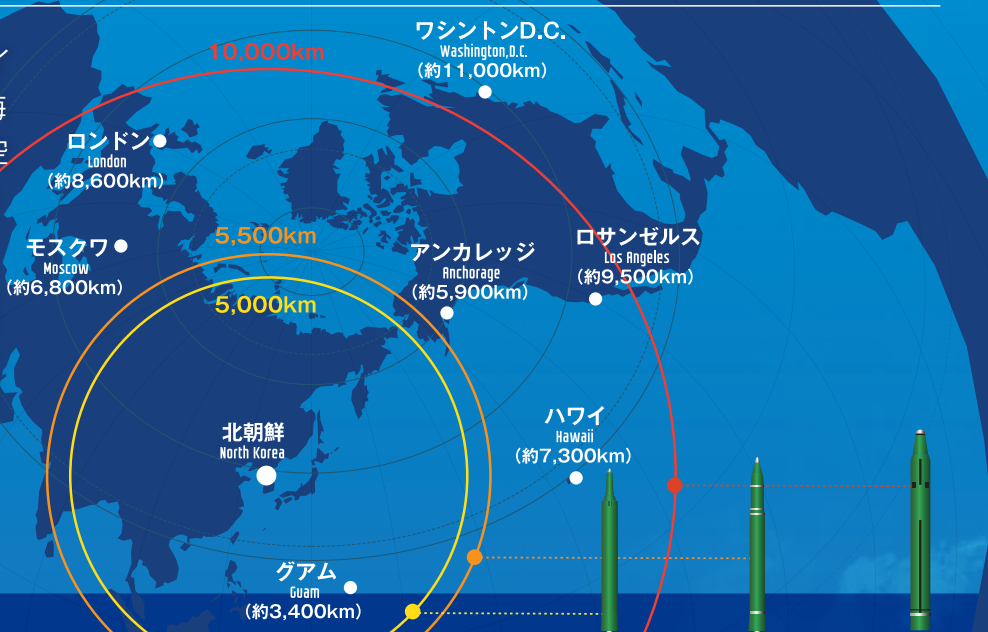
Destruction Measures Against Ballistic Missiles, etc

BMD整備構想・運用構想(イメージ) Build-up and operational of BMD

※BMD (Ballistic Missile Defense) : 弾道ミサイル防衛

わが国に飛来する弾道ミサイル等の対処にあたっては、海上自衛隊のイージス艦と航空自衛隊のペトリオットPAC-3で対処します。

To intercept ballistic missiles flying into Japan, Aegis-equipped destroyers of JMSDF (Japan Maritime Self-Defense Force) and Patriot PAC-3 of JASDF will be deployed.



	IRBM級「火星12」	ICBM級「火星14」	ICBM級「火星15」
射程	約5,000km	5,500km以上	10,000km以上
燃料/段数	液体/1	液体/2	液体/2
運用	移動式発射台	移動式発射台	移動式発射台

2020(令和2)年以降の北朝鮮による弾道ミサイル発射

日付	推定される弾種	発射数	飛行距離	日付	推定される弾種	発射数	飛行距離	日付	推定される弾種	発射数	飛行距離
2020. 3. 2	短距離弾道ミサイル	2発	約240km	2022. 3. 24	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」	1発	約1,100km	2022.10. 9	弾道ミサイル	2発	約350km程度
2020. 3. 9	短距離弾道ミサイル	2発	最大約200km	2022.10.14	弾道ミサイル	1発	約650km程度	2022.10.14	弾道ミサイル	1発	約650km程度
2020. 3. 21	短距離弾道ミサイル	2発	約400km	2022. 5. 4	弾道ミサイル	1発	約500km程度	2022.11. 2	弾道ミサイル	2発	約500km程度
2020. 3. 29	短距離弾道ミサイル	2発	約250km	2022. 5. 7	潜水艦発射弾道ミサイル	1発	約600km程度	2022.11. 3	弾道ミサイル(可能性)	1発	-
2021. 3. 25	短距離弾道ミサイル	2発	約600km	2022. 5. 12	弾道ミサイル	3発	約350km程度(※)	2022.11. 9	弾道ミサイル	1発	約250km程度
2021. 9. 15	短距離弾道ミサイル	2発	約750km	2022. 5. 25	ICBM級の弾道ミサイル及び弾道ミサイル	2発	①約300km程度 ②約350km程度 ③約400km程度 ④約450km程度 ⑤約500km程度 ⑥約550km程度	2022.11.17	弾道ミサイル	1発	-
2021. 9. 28	弾道ミサイルの可能性のあるもの	1発	-	2022. 6. 5	弾道ミサイル	8発	①約350km程度 ②約300km程度 ③約400km程度 ④約450km程度 ⑤約500km程度 ⑥約550km程度	2022.11.18	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」	1発	約1,000km
2021.10.19	新型のSLEM	1発	約600km	2022. 6. 5	弾道ミサイル	8発	①約350km程度 ②約300km程度 ③約400km程度 ④約450km程度 ⑤約500km程度 ⑥約550km程度	2022.12.18	弾道ミサイル	2発	約500km程度
2022. 1. 5	新型弾道ミサイル	1発	約500km(※)	2022. 9. 5	弾道ミサイル	1発	約650km程度	2022.12.23	弾道ミサイル	1発	約300km程度
2022. 1.11	弾道ミサイル	1発	-	2022. 9. 5	弾道ミサイル	1発	約650km程度	2022.12.31	弾道ミサイル	3発	約350km程度
2022. 1.14	短距離弾道ミサイル	2発	約400km(※)	2022. 9. 5	弾道ミサイル	1発	約650km程度	2023. 1. 1	弾道ミサイル	1発	約350km程度
2022. 1.17	短距離弾道ミサイル	2発	約300km(※)	2022. 9. 28	弾道ミサイル	2発	①約350km程度 ②約300km程度				
2022. 1.27	短距離弾道ミサイル	2発	-	2022. 9. 28	弾道ミサイル	2発	約300km程度				
2022. 1.30	IRBM級の弾道ミサイル「火星12」	1発	約800km程度	2022. 9. 29	弾道ミサイル	2発	約300km程度				
2022. 2.27	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」	1発	約300km程度	2022.10. 1	弾道ミサイル	2発	①約400km程度 ②約350km程度				
2022. 3. 5	ICBM級の弾道ミサイル「火星17」	1発	約300km程度	2022.10. 4	IRBM以上の射程を有する弾道ミサイル	1発	約4,600km程度				
2022. 3.16	弾道ミサイル	1発	-	2022.10. 6	弾道ミサイル	2発	①約350km程度 ②約800km程度				

(※)通常の弾道軌道であるとした場合

ミッドコース段階

Mid-course phase

ロケットエンジンの燃焼が終了し、慣性運動によって宇宙空間(大気圏外)を飛行している段階

In this phase, the rocket engine burns out and the missile is flying in outer space (exoatmosphere) inertially.

ブースト段階

Boost phase

発射後、ロケットエンジンが燃焼し、加速している段階

In this phase, the rocket engine is burning and accelerating the missile.

探知 識別 追尾

Detect / Identify / Track

ターミナル段階

Terminal phase

大気圏に再突入して着弾するまでの段階

This phase covers atmospheric re-entry to impact.



警戒管制レーダー Warning and Control Radar

弾道ミサイル等発射の状況を監視し、発射された場合は、探知・追尾し、各システムと情報を共有します。

The radar monitors and tracks missile launch, and shares information with other systems.



地対空誘導弾
ペトリオットPAC-3
Surface-to-Air Missile
JASDF Patriot PAC-3

弾道ミサイル
Ballistic missile

海上自衛隊
イージス艦

BMD 統合任務部隊指揮官
(航空総隊司令官)
Commander, Joint Task Force-BMD
(Air Defense Commander)

海上自衛隊の イージス艦

JMSDF Aegis-equipped destroyer

わが国に着弾する恐れのある弾道ミサイル等を大気圏外の上層で迎撃します。

When there is a possibility of landing in Japan, Aegis destroyers intercept them above the atmosphere.

航空自衛隊の地対空誘導弾 ペトリオットPAC-3

Surface-to-Air Missile JASDF Patriot PAC-3

大気圏に再突入しわが国に着弾する恐れのある弾道ミサイル等を迎撃します。

It intercepts the ballistic missiles which re-enter the atmosphere and land in Japan.



防衛力の抜本的強化の7つの分野

7 key fields of Fundamental Reinforcement of Defense Capabilities.

国民の命と平和な暮らし、
そして、わが国の領土・領空・領海を断固として守り抜く

We are unwavering in our commitment to protect the lives of our citizens,
ensure their peaceful living, and steadfastly defend our nation's territory, airspace,
and territorial waters.

防衛力を抜本的に強化することで、わが国を断固として守り抜くという意味と、十分な能力があることを
認識させ、相手にわが国を侵略する意思を持たせないことにつながる。

By fundamentally enhancing our defense capabilities, we convey not only our strong resolve to defend our nation but also ensure others recognize
our sufficient capacity. This deters any intention of invading our country.

わが国の防衛上必要な機能・能力として、下記の7分野を重視して、防衛力の抜本的強化に取り組む。

We will commit to fundamental Reinforcement of Defense Capability by focusing on the following seven areas that are essential for our national
defense.

01

スタンド・オフ防衛能力
Stand-Off Defense Capabilities



わが国への侵攻そのものを抑止するために、遠距離から侵攻戦力を阻止・排除

To deter any invasion of our country, we prevent and eliminate invading forces from long distances.

02

統合防空ミサイル
防衛能力
Integrated Air and
Missile Defense Capabilities



03

無人アセット防衛能力
Unmanned Defense Capabilities



万一抑止が破れ、わが国への侵攻が生じた場合、01、02の能力に加え、有人アセット、更に無人アセットを駆使しつつ、水中・海上・空中といった領域を横断して優越を獲得し、非対称的な優勢を確保

Should deterrence fail and an invasion occur, beyond the capabilities mentioned in 01 and 02, we utilize both manned and unmanned assets. Gaining superiority across underwater, maritime, and aerial domains ensures our asymmetric dominance.

04

領域横断作戦能力
Cross-Domain Operation
Capabilities



05

指揮統制・情報関連機能
Command and Control and
Intelligence-related Function



06

機動展開能力・国民保護
Mobile Deployment Capabilities /
Civil Protection



迅速かつ粘り強く活動し続けて、相手方の侵攻意図を断念

We continue to take swift and persistent actions, compelling the adversary to abandon their invasion intentions.

07

持続性・強靱性
Sustainability and Resiliency



II

空と宇宙を守り抜く

Defend the sky and space

災害派遣

Disaster Relief Operation

航空防衛力の特徴である柔軟性、多様性を活かして災害等に対応します。

We deal with concerns such as disasters by taking advantage of the flexibility and diversity that are the features of aviation defense capabilities.

能登半島地震に係る災害派遣（2024年1月～）

Disaster Relief Operation Related to The 2024 Noto Peninsula Earthquake, (Jan. 2024 ~)



急患空輸（2023年度）

Aeromedical Evacuation (FY 2023)



佐賀県唐津市における大雨に関する災害派遣（2023年7月）

Disaster Relief Operation Related to the Heavy Rain in Karatsu City, Saga Prefecture (Jul. 2023)



日米同盟/安全保障協力

Japan-US Alliance Security and Cooperation

航空防衛力の特徴を活かし、関係国との連携により、わが国にとって望ましい安全保障環境の創出に寄与します。

Taking advantage of the features of aviation defense, we will contribute to the creation of a security environment favorable for Japan by cooperating with concerned countries.



日米防衛相会談（2023年10月）
Japan-U.S. Defense Ministerial Meeting, (Oct. 2023)



統合幕僚長と米統合参謀本部議長との会談（2023年11月）
Meeting with the Chief of Staff of U.S. Joint Chiefs of Staff (Nov. 2023)



米宇宙軍作戦本部長との懇談（2023年4月）
Meeting with Deputy Chief of Space Operations, U.S. Space Force, (Apr. 2023)



ノーザン・エッジ（2023年7月）
Northern Edge 23 (Jul. 2023)

豪州機動展開訓練（2023年8月） Overseas Mobile Deployment Training (Aug. 2023)



日伊共同訓練（2023年8月） Bilateral Training between JASDF and the Italian Air Force (Aug. 2023)



日豪共同訓練（武士道ガーディアン）（2023年9月） Japan - Australia Bilateral Exercise, Bushido Guardian 23 (Sep. 2023)

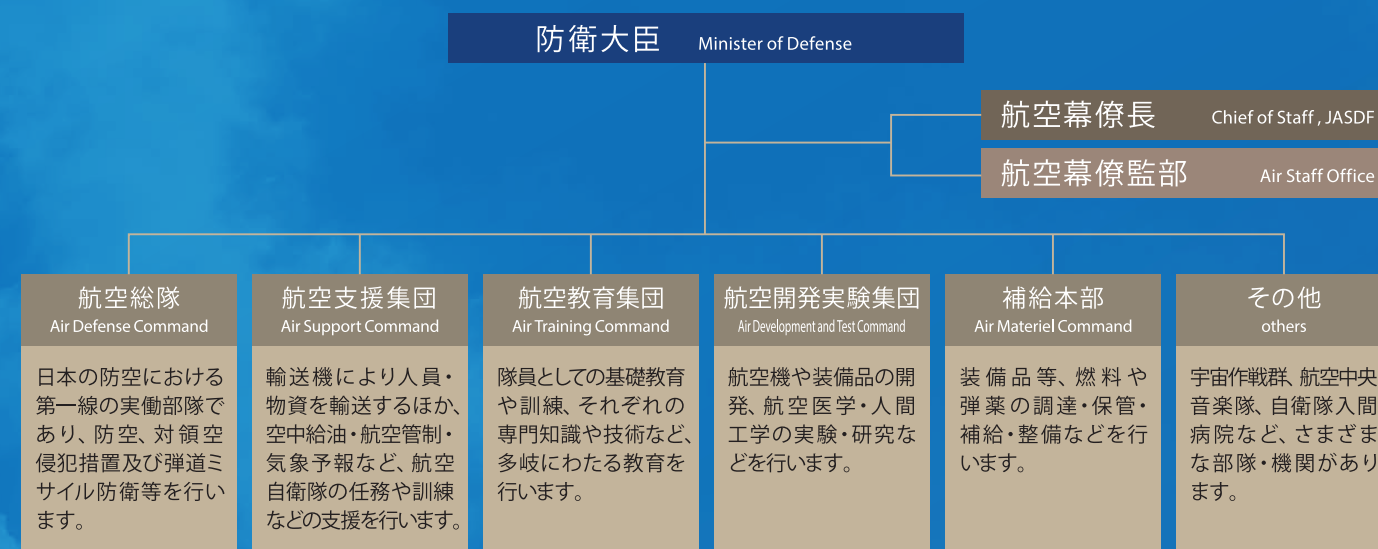


航空自衛隊の編成

Organization of JASDF

航空自衛隊の基地及び分屯基地は全国に72箇所あり、各部隊等が高度に連携して任務を遂行します。

There are 72 JASDF bases and sub-bases in Japan, and each unit performs its missions in a highly coordinated manner.



航空自衛隊の装備

JASDF Equipment

航空自衛隊は各種任務に対応するため、多種多様な航空機等を配備しています。
JASDF has a wide variety of aircraft and other equipment to conduct various missions.

戦闘機

戦闘機は、侵攻してくる相手に直接対処する航空機です。
Fighter aircraft directly respond to incoming adversaries.



F-15J/DJ



F-2A/B



F-35A

救難機

救難機は、遭難した機体や乗員を捜索・救助したり、災害時において被災者を救助・輸送する航空機です。

Rescue aircraft perform search and rescue operations for missing aircraft and crews, and also provide relief and transport in case of disaster.



UH-60J

地对空誘導弾

弾道ミサイル防衛や防空のための装備です。

Surface-to-air missiles provide ballistic missile defense and air defense.



PATRIOT

基地防空用地対空誘導弾



輸送機等

輸送機は、隊員や物資を輸送する航空機です。空中給油・輸送機は、戦闘機、輸送機、救難機に上空で給油し、活動範囲を拡大させるための航空機です。

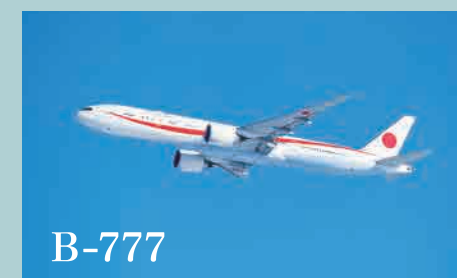
Cargo aircraft transport personnel and supplies. Aerial tanker and transport aircraft refuel fighter, cargo and rescue aircraft so that the receivers can operate in a wider area.



C-2



KC-46A



B-777



CH-47J

早期警戒管制機等

早期警戒管制機等は、わが国周辺を飛行する航空機を探知・識別する航空機です。

Early warning and control aircraft detects and identifies aircraft flying in airspace surrounding Japan.



E-767



E-2D

情報収集機

情報収集機は、長時間にわたり広範囲の情報を収集する航空機です。

An information collector is an aircraft that collects a wide range of information over a long period of time.



RQ-4B

地上警戒管制レーダー等

わが国周辺を飛行する航空機を探知・識別するための装備です。

Ground-based warning and control radars detect and identify aircraft flying in airspace surrounding Japan.



J/FPS-7

移動式警戒監視システム
J/TPS-102AJ移動用多重通信装置
TRQ-506

航空自衛隊の役割

JASDF roles

航空自衛隊にはパイロットをはじめ多彩な職種があり、それぞれ連携して活動しています。

JASDF has a variety of specialties including pilots, and they work in cooperation.

航空管制 Air Traffic Control

飛行場を離発着する航空機を誘導する業務を行います。
Their mission is to give instructions to landing and departing aircraft at air bases.



警戒管制

Air Control and Warning

日本周辺の空域を休みなく監視し、必要に応じて戦闘機などを誘導します。

They monitor airspace surrounding Japan 24/7 and support fighter operations as necessary.



操縦 Pilot

戦闘機などの航空機を操縦し、さまざまな任務を遂行します。

They operate fighter and other aircraft to carry out various operations.



救難 Rescue

救難機に搭乗し、要救助者の捜索、救助を実施します。また、被救助者に対する応急処置を行っています。

Boarding aircraft, these personnel conduct search and rescue operations for missing people. They also provide the rescued with first aid.



整備 Maintenance

多岐にわたる装備品が万全の態勢で任務に就けるよう整備しています。

Diverse equipment is well-maintained in order to be fully ready for operations.

- 無線レーダー整備 Communication Electronics Systems Maintenance
- 高射整備 Air Defense Artillery Systems Maintenance
- 武装整備 Avionics Systems Maintenance
- 航空機整備 Aircraft Systems and Aircraft Maintenance
- 武器弾薬 Weapons and Munitions
- 車両整備 Vehicle Maintenance



基地業務 Air Base Support

基地の警備から隊員の福利厚生まで、基地機能の維持・運営に必要な様々な業務を実施します。

This specialty includes a variety of activities necessary for maintaining and operating air base functions from base security to welfare of personnel.

- 通信 Communications Operations
- 施設 Civil Engineering
- 消防 Fire Protection
- 輸送 Transportation
- 給養 Food Service
- 補給 Supply
- 会計 Finance
- 厚生 Welfare
- 警備 Legal Enforcement
- 衛生 Medical



輸送

宇宙 Space Operations

宇宙空間の安定的利用に対する脅威に対応するため、宇宙領域把握を行います。

They are providing SDA (Space Domain Awareness) in order to respond to threats to the stable use of space.



その他 Others

その他にも多種多様な職種があります。
There are many other types of specialties.

- 語学 Linguist
- 音楽 Musicians
- 気象 Weather
- 法務 Legal Affairs 等
- 総務 Administration
- 教育訓練 Education and Training
- 技術 Developmental Engineering

高射 Air Defense Artillery Operations

ペトリオット・システムなどを運用し、航空機部隊や警戒管制部隊と連携して、航空機や弾道ミサイルなどを撃破することを任務としています。

Their mission is to operate patriot systems and other equipment to intercept aircraft and ballistic missiles in collaboration with aircraft operating units as well as warning and control units.



航空自衛隊の採用・育成制度

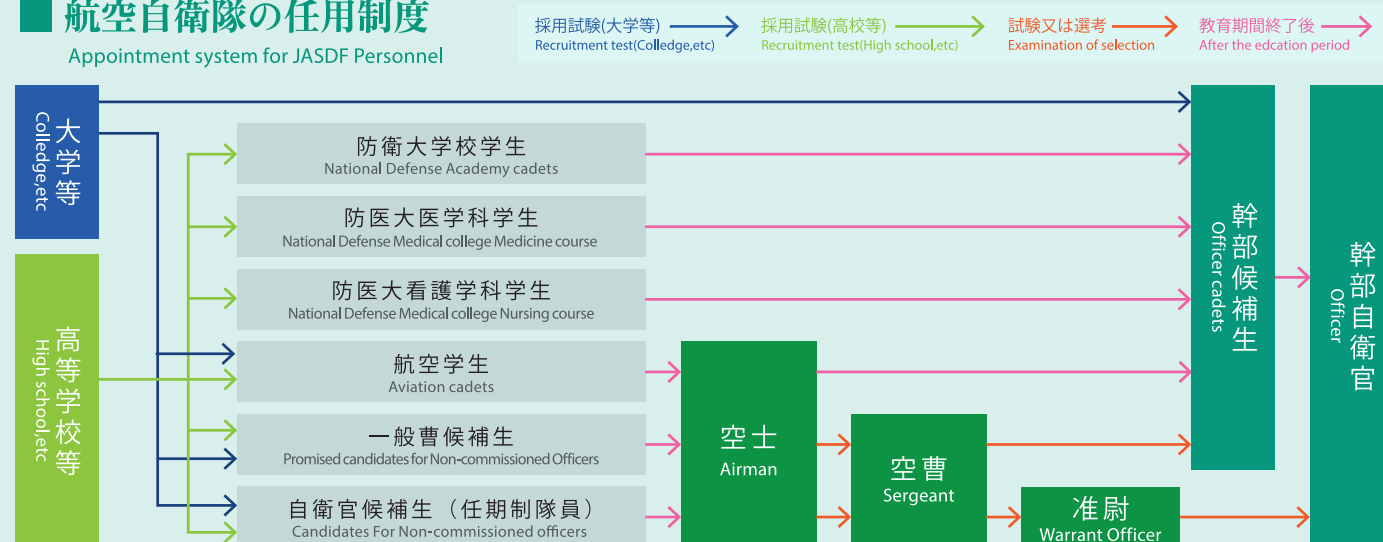
JASDF Recruitment and Development system

高卒者、大卒者、社会人など、多彩な人材を採用・育成しています。

We employ and develop a wide variety of human resources, including high school graduates, university graduates and those with mid-career experience.

航空自衛隊の任用制度

Appointment system for JASDF Personnel



多様な採用区分

Recruiting Categories and Qualification for Examination

幹部候補生（一般）	自衛隊組織の骨幹である幹部自衛官を養成します。	22歳以上26歳未満の者（修士課程修了者等（見込含）は28歳未満）
幹部候補生（歯科・薬剤科）	医師又は薬剤師国家試験に合格した者を幹部候補生として採用します。	歯科：専門の大卒（見込含）20歳以上30歳未満の者 薬剤科：専門の大卒（見込含）20歳以上28歳未満の者
防衛大学校学生	将来、陸海・空、各自衛隊の幹部自衛官となる者を養成します。	
防衛医科大学校医学科学生	将来、自衛隊の医官となる者を養成します。	18歳以上21歳未満の者（高卒者又は高専3年次修了者（見込み含）
防衛医科大学校看護学科学生	将来、自衛隊の看護師となる者を養成します。	
航空学生	航空自衛隊のパイロットを養成します。	18歳以上24歳未満の者（高卒者又は高専3年次修了者（見込み含）
一般曹候補生	部隊の中核である空曹自衛官を養成します。	
自衛官候補生（任期制隊員）	採用後、自衛官候補生に任命され、所要の教育を経て3カ月後に2等空士に任官します。職域に関連した資格の取得も目指せます。	18歳以上33歳未満の者
自衛隊貸費学生（技術貸費学生）	卒業後、専攻した学術（医学、歯学、理学、工学）を活かして自衛隊に勤務する意志を持つ大学生及び大学院生に対し、防衛省から学資金を貸与します。	大学の理学部工学部の3年次、4年次又は大学院修士課程在学（専門職大学院を除く。修士課程に在学し、規定の学科を専攻している者）
医科・歯科幹部	医師又は歯科医師として臨床経験のある者を幹部自衛官として採用します。	医師・歯科医師の免許取得者
キャリア採用幹部・技術空曹	高度、特殊な識能を必要とする職務等について、即戦力となる人材を採用します。	自衛官募集ホームページ又は各年度の採用要項をご覧ください。
元自衛官の再任用	中途退職した自衛官を、原則退職したときの階級、特技で再任用します。	
任期付自衛官	育児休業等により不在となる自衛官の代わりとして、元自衛官を採用します。	航空自衛隊ホームページをご覧ください。

※受験資格の細部については、自衛官募集ホームページをご覧ください。お近くの自衛隊地方協力本部へお問い合わせください。

教育訓練 Education and Training

部隊を構成する自衛官個々の能力を高めるため、自衛隊の学校及び教育部隊等において、階級や職務に応じて段階的かつ体系的な教育を実施し、必要な資質を養うとともに、知識・技能を習得していきます。

In order to enhance the capability of each member of the SDF, the SDF schools and training units provide phased, systematic education and training programs suited to trainees' ranks and specialties. Trainees enhance their qualities required as a member of SDF while acquiring knowledge and skills.

一般教育

General Education



階級に応じた資質を養い、基礎的知識を身につけます。

Trainees acquire basic knowledge, while enhancing their qualities suited to their ranks.

術科教育

Technical Education



航空機やその他装備品の整備、燃料の補給などの専門的な知識と技術を身につけます。

Trainees gain special knowledge and skills needed for an aircraft maintainer, supply specialist etc.

個人訓練

Individual Training



部隊の特性及び実情に応じた訓練を段階的に行います。

After basic training, individual training is provided in phases, corresponding to unit characteristics and its requirement.

給与制度 Salary system

※初任給等には各種手当等は含みません。

自衛官候補生	¥157,100	
一般曹候補生 航空学生	高卒 ¥198,800	大卒 ¥209,500
一般幹部候補生	大卒 ¥243,500	院卒 ¥262,200

令和6年3月31日現在

昇給・賞与

定期昇給（原則年1回）、賞与（年2回）

各種手当等

一般職国家公務員同様、扶養手当、地域手当、通勤手当等が支給される上、任務に応じ航空手当、特殊勤務手当（航空作業手当、災害派遣手当、航空管制手当等）が支給されます。また、制服が貸与され、自衛隊病院等での医療費は免除、基地内居住者は宿泊費及び食費が無料となります。

給与モデル（一例）

● 自衛官候補生

入隊 自衛官候補生 ¥157,100	3か月後 2等空士 ¥198,800	9か月後 1等空士 ¥211,900	1年9か月後 空士長 ¥219,000	...
--------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	-----

● 一般幹部候補生

入隊 空曹長 ¥243,500	1年後 3等空尉 ¥263,800	...
-----------------------	-------------------------	-----

● 航空学生

※航空手当（航空機乗組員として支給される手当）を除く。

入隊 2等空士 ¥198,800	1年後 空士長 ¥212,100	2年後 3等空曹 ¥232,600	4年後 1等空曹 ¥256,900	5年後 空曹長 ¥265,900	6年後 3等空尉 ¥285,400	...
------------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------	-------------------------	-----

III

空と宇宙を守る隊員たち

Members defending the sky and space

ワークライフバランスの推進

Promotion of Work/Life Balance

仕事と育児・介護等を両立するなど、隊員が安心して活躍できる環境を整えています。
SDF members can have a good balance between work and family. SDF offers an environment where each member can work with peace of mind.

■ 各種休暇・休業制度

System for various leaves/holidays

出産や育児・介護のための休業制度があります。女性隊員だけでなく、男性隊員も取得しています。

We have maternity leave, childcare leave and family care leave systems. Not only female but also male members make use of these leave systems.



■ 勤務時間の柔軟化

Flexible Office Hours

早出遅出勤及びフレックスタイム制を利用することにより、勤務時間をより柔軟に選択できます。

The staggered working hour system and flextime system enable SDF members to flexibly select working hours.

■ テレワーク（一部部署での実施）

Telework (in some departments)

育児・介護などで時間制約がある隊員が、自宅でパソコンを用いて勤務をしています。

Those engaging in childcare or family care have time constraint. Such SDF members can work out of home by taking advantage of computers.

■ 庁内託児施設

Office daycare facilities

隊員の子育て支援のための勤務環境整備の一つとして、庁内託児施設を開設して特殊な勤務環境等の自衛隊の特性に合った保育の場を提供しています。

As an effort to improve working environment and support childcare, SDF opened a daycare facility on base. This facility provides childcare service suited to SDF members whose work is rather unique.

■ 緊急登庁支援

Emergency duty support

災害派遣等における緊急登庁の際、子供を帯同して登庁せざるを得ない隊員の支援を行っています。

In case of disaster operations, some of our members on emergency duty have no choice but to bring their kids to base. We provide support for such members.



育児休業中の男性隊員 Man on parental leave



女性の活躍推進

Promotion of Females' Active Roles

性別にかかわらず、意欲と能力に応じて、全ての隊員が活躍できる職場環境を整えています。

We have created working environment where both men and women can play active role depending on their motivation and ability, regardless of gender.

■ 配置制限の撤廃

Abolishing the restrictions on assignment

現在、女性自衛官の配置制限はなく、幅広い職種で活躍しています。
Currently, there are no restrictions on female's assignment. Female members work in a variety of fields.



■ 能力実績主義に基づく登用

Merit and ability-based appointment

女性隊員のキャリア形成を支援し、能力や意欲のある人材を登用しています。

We support female's career development. We open up opportunities to those who have skillset and motivation.

■ 女性隊員の採用の拡大

Expanding Recruitment of Female Members

採用に占める女性の割合を増やすことができる施設整備や、働きやすい環境を整備しています。

We are preparing facilities so that we can increase the percentage of women in hiring and creating comfortable environment.



再就職のためのサポート Support for Re-employment

退職後も航空自衛隊での経験を役立てられるよう、再就職をサポートしています。再就職に有利な資格取得のため、教育や訓練を受けることができます。

We provide re-employment assistance for our members to take advantage of their experience of JASDF even after retirement. They can receive education and training to obtain qualifications favorable for re-employment.

幹部	業務管理教育	インターンシップ	防災・危機管理教育	通信教育	退職・再就職へ
	ライフプラン設計や業界分析など、再就職の準備教育を受けます。	企業等において就業体験をします。	防災行政の専門知識を学びます。	国家資格・民間資格の取得を目指す通信教育です。	
准尉・曹			技能訓練		
			再就職後の業務に役立つ多彩な技能訓練を受けます。（運転免許等も取得できます。）		
士（任期制自衛官）	就職指導教育	ライフプラン作成	公的部門受験対策講座	大学進学支援通信教育	退職・再就職へ
	就職活動における知識やマナーなどを学びます。	任期制自衛官向けの将来設計をサポートします。			

IV

国民とのつながり

国民の理解と信頼を得るため、イベントやSNSなど多彩な広報活動を行っています。

In order to gain understanding and trust of the people of Japan, we conduct a wide range of PA activities such as hosting events and messaging via social media.

ブルー
インパルス



Blue Impulse

ブルーインパルスは1960年に設立された、航空自衛隊のアクロバット飛行チームです。大空をイメージさせる青と白の機体が、一糸乱れぬフォーメーションで観客を魅了します。

航空祭での展示飛行はもとより、1964年の東京五輪、2002年の日韓FIFAワールドカップ、そして、2021年には2度目となる東京五輪で飛行し、世界各国の人に航空自衛隊をアピールしました。

Blue Impulse is JASDF aerobatic demonstration team founded in 1960. The blue and white fuselage brings the image of the sky to our minds. The perfect formation of the team fascinates audience. In addition to demonstration flights at air festivals, the team performed at the Tokyo Olympic Games in 1964, the Japan-Korea FIFA World Cup in 2002 and second the Tokyo Olympic Games in 2021. Through these opportunities, the team raised JASDF's profile around the world.



Connection with the people



音楽隊



▲ 青少年のための陸海空自衛隊合同コンサート
JGSDF-JMSDF-JASDF Joint Concert for Boys and Girls

▶ 東京競馬場におけるG1ファンファーレ
G1 Fanfare at Tokyo Racecourse

航空自衛隊は全国に5つの音楽隊があります。いずれも各地域を代表する吹奏楽団として、地域の行事から国際的な式典まで多彩な機会で演奏しています。演奏レパートリーは、航空自衛隊の隊歌にとどまらず、映画音楽やポップスなどメジャーな曲も演奏します。また、照明や音響機器を駆使したステージ演出も加わり、観客の目と耳を楽しませています。

JASDF has five music bands nationwide. They perform at various occasions such as regional events and international ceremonies. Their repertoire is not limited to JASDF music. They also play famous screen music and pop.

Their performance is graced with stage effects such as lighting and audio. People enjoy their visually and audibly entertaining performances.

航空自衛隊は、全国の基地で航空祭を開催しています。航空自衛隊に対する理解を深めるためにブルーインパルスなどの展示飛行や装備品展示、試着体験など多彩なイベントが行われます。開催日などは航空自衛隊Webサイトのイベントページで確認できます。

JASDF holds air festivals at bases all over Japan. For people to have deep understanding of JASDF, we hold various events such as Blue Impulse flight equipment exhibitions and uniform fitting experiences. For the information on JASDF air festivals, please go to JASDF website.



航空祭

航空自衛隊の
WebサイトとSNS

Japan Air Self-Defense Force Website and SNS

航空自衛隊はWebサイトと各種SNSを活用して、積極的に情報発信をしています。JASDF proactively offers information through websites and SNS.

✕ (旧Twitter) @JASDFPAD
f Facebook @Jasdf_Pad
YouTube 航空自衛隊チャンネル JASDF channel
Instagram @Jasdf_pad



1954 (昭和29年)
航空自衛隊創設



航空幕僚監部開庁式における
上村空幕長訓示

1961 (昭和36年)
西部航空方面隊を編成 (春日)



西部航空方面隊編成完結式

1978 (昭和53年)
初の日米共同訓練
「コープノース」(三沢)



1999 (平成11年)
戦闘機初の海外訓練 (F-15、E-2C)
「コープノース・グアム」



2004 (平成16年)

- ・イラク人道復興支援派遣輸送航空隊、クウェートへ出発
- ・初の在外邦人等輸送として、イラクからクウェートへ邦人10名を輸送
- ・航空自衛隊創設50周年記念式典 (入間)



家族、隊員らに見送られ出発するC-130H

1959 (昭和34年)
伊勢湾台風において
災害派遣を実施

1973 (昭和48年)
南西航空混成団を編成 (那覇)



南西航空混成団編成完結式

1989 (平成元年)
航空支援集団、航空教育集団、
航空開発実験集団を新設



2001 (平成13年)
テロ対策特措法に基づく活動 (～2007年11月)



テロ対策特措法に
基づく空輸活動



空自60周年ロゴマーク

冷戦終結
(1989年)

阪神淡路大震災
(1995年)

同時多発テロ (9.11)
(2001年)

東日本大震災
(2011年)

クリミア併合
(2014年)

1955 (昭和30年)
T-33練習機操縦学生
5人が卒業、
日本初のジェット機
パイロット誕生 (築城)

1958 (昭和33年)
・対領空侵犯措置を開始
・初スクランブル



航空集団を航空総隊に改編、
北部・中部航空方面隊を編成



1964 (昭和39年)
東京オリンピック開会式で
F-86Fブルーインパルス
5機が五輪のマークを描く



大空に描かれた五輪のマーク

MiG-25事件
(1976年)

1988 (昭和63年)
初の海外訓練 (C-130H)
「エアリフト・ロデオ」
(ポーランド空軍基地)



1974 (昭和49年)
女性自衛官3名誕生



航空幕僚長に挨拶する女性自衛官

1997 (平成9年)
女性自衛官初のウィングマーク取得



1992 (平成4年)
我が国初の国際平和維持活動となる、
カンボジア国際平和協力業務 (～1993年9月)



2012 (平成24年)
航空総隊司令部、横田基地に移転



航空総隊司令部の運用開始行事

2003 (平成15年)
イラク人道復興支援活動 (～2009年2月)



小泉総理(当時)の激励を受ける
派遣隊員 (H15.12.24 小牧)

70th history

昭和

V

航空自衛隊70年の歴史

The 70th history of Japan Air Self-Defense Force

2016

(平成28年)

日英共同訓練「ガーディアン・ノース16」
米国以外の国と実施する初の国内共同訓練



初の日英共同訓練

2018

(平成30年)

航空自衛隊初の女性戦闘機操縦者の誕生(新田原)



初の女性戦闘機操縦者

2021

(令和3年)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会支援



オリンピック開会式

2023

(令和5年)

・自衛隊入間病院を新編(入間)
・航空自衛隊のF-35Aによる初の
国外機動展開訓練
(米国(グアム)・豪州)



ティンダル空軍基地到着



豪空軍飛行隊長による出迎え

新型コロナウイルス感染症
(2020年)

能登半島地震
(2024年)

ウクライナ侵略
(2022年)

2022

(令和4年)

・戦後初となる東南アジア地域への
戦闘機派遣(F-15)(フィリピン)
・宇宙作戦群を新編(府中)
・偵察航空隊(グローバルホーク
(RQ-4B))を新編(三沢)



派遣されたF-15



偵察航空隊編成完結式



グローバルホーク

2024

(令和6年)

創設70周年



空自70周年ロゴマーク

2020

(令和2年)

・新型コロナウイルス感染症拡大防止、
水際対策強化に伴う災害派遣
・宇宙作戦隊を新編(府中)



宇宙作戦隊新編行事

2017

(平成29年)

南西航空方面隊を新編



南西航空方面隊編成完結式

平成

VI

航空自衛隊浜松広報館 「エアーパーク」

Airpark



入館料
0円

航空自衛隊
浜松広報館
「エアーパーク」

戦闘機や装備品が展示されており、見て・体験して楽しめる航空自衛隊のテーマパークです。

Air Park displays JASDF fighter aircraft and equipment. You can enjoy seeing and experiencing JASDF at this facility.



The Blue Impulse corner is also enriched.



Powerful digital images fill the dome!



Real aircraft is just front of you! It's not a plastic model!



Aircraft operation is so difficult...

航空自衛隊を楽しみながら
理解できる施設があります。

You can enjoy learning
about JASDF at this facility.

周辺地図



●浜松広報館の入口は右折入場禁止です。
基地外周を左回りでご入場ください。

交通のご案内



●JR浜松駅北口バスターミナル14番線 泉・高丘行き
泉四丁目下車 徒歩10分
●東名高速道路浜松西インター出口より 車で約10分

施設情報

〒432-8551 静岡県浜松市西区西山町 無番地
航空自衛隊浜松基地 浜松広報館(エアーパーク)
電話/053-472-1121
開館時間:9:00~16:00